

# 都市再生整備計画 事後評価シート

伝法寺地区

〈原 案〉

平成27年11月

愛知県一宮市

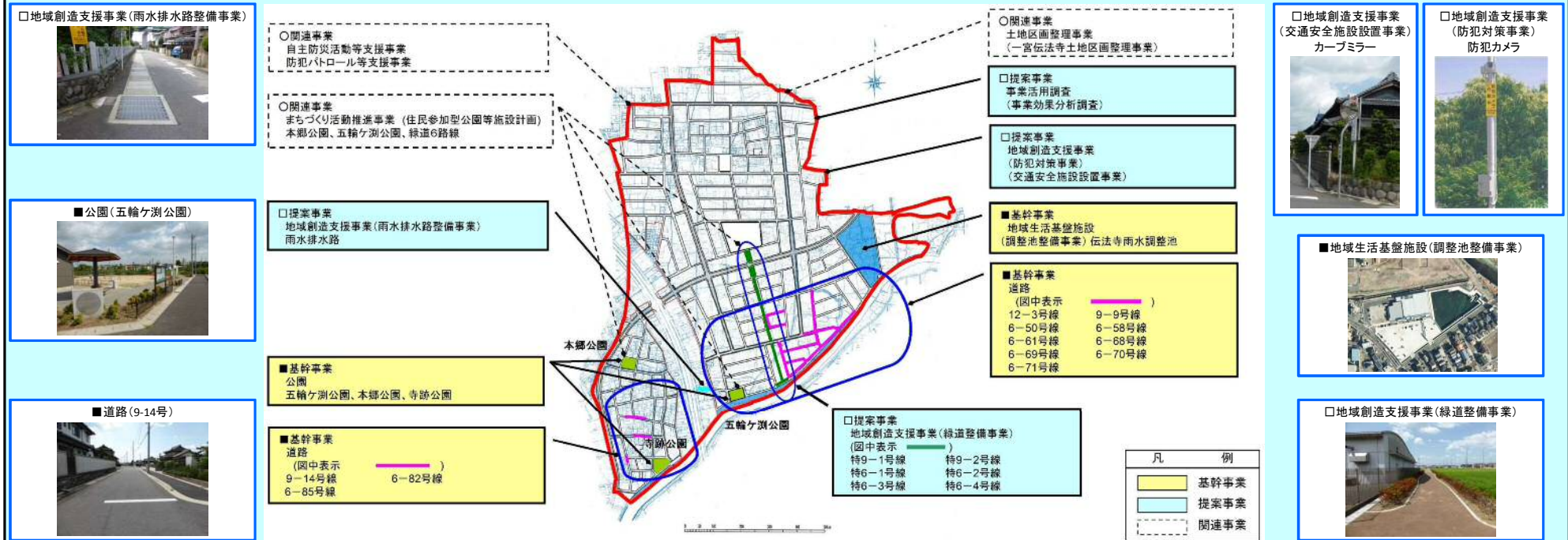
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	一宮市		地区名	伝法寺地区			面積	100ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	642百万円	国費率	0.400				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路[12-3号線、9-9号線、9-14号線、6-50号線、6-58号線、6-61号線、6-68号線、6-69号線、6-70号線、6-71号線、6-82号線、6-85号線] 公園[五輪ヶ淵公園、本郷公園、寺跡公園] 地域生活基盤施設(調整池整備事業[伝法寺雨水調整池])									
			提案事業	地域創造支援事業(防犯対策事業、雨水排水路整備事業[雨水排水路]、交通安全施設設置事業、緑道整備事業[緑道6路線]) 事業活用調査(事業効果分析調査) まちづくり活動推進事業(住民参加型公園等施設計画[本郷公園外1公園、緑道6路線])									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動推進事業(住民参加型公園等施設計画[本郷公園外1公園、緑道6路線])		公園等施設計画の策定について、住民主体でも協力しながら補助事業ではなく、市単独事業でワークショップを実施することになったため、提案事業から関連事業へ移行			事業内容に変更はなく、指標等に影響はない。				
	新たに追加した事業		基幹事業	-									
提案事業			-										
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		地区内定着人口:3,720人⇒4,100人						
		変更	平成23年度～平成27年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区内定着人口	人	3,470	H22	4,100	H27	モニタリング	評価値	○	あり	関連事業である土地区画整理事業による都市基盤施設の整備、また、道路、公園、調整池整備事業などによる公共施設の整備に合わせ、防犯対策事業(地元町内会による、防犯灯、防犯カメラの設置)等を実施した。これにより、安心・安全でゆとりとうるおいのある住環境整備の推進が図られ、定着人口の増加につながった。	平成28年4月
	指標2	安心・安全・快適に通行できる道路に面している宅地率	%	90	H22	100	H27	98	100	○	あり	自転車利用者及び歩行者の通行に支障をきたす恐れのある未舗装道路等の整備、また、新たに緑道の整備を推進したことにとともに、安心・安全・快適に通行できる空間が増加した。これにより、当該空間を享受できる宅地が増加した。	平成28年4月
	指標3	雨水排水機能向上区域率	%	29	H22	100	H27	34	100	○	あり	大雨から住民の生命・財産を守るため、雨水排水路を整備するとともに調整池を整備することにより、概ね5年に1回程度の大規模な大雨に対して安全な区域の増加を図ることができた。	
	指標4	公園・緑道までの距離	m	230	H22	150	H27	230	150	○	あり	緑豊かで魅力のある空間である公園及び緑道の整備に合わせ、それらにアクセスする道路の整備を推進したことにより、公園・緑道までの距離の短縮を図ることができ、緑の空間がより身近になった。	平成28年4月
											なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	地震時における避難場所までの到達時間	分:秒	3:37	H22	/		2.43		/	/	地震時に避難場所となる公園の整備と、迅速に避難をするための道路及び緑道の整備を推進したことにより、地域住民が避難場所へ移動する時間が短縮した。	平成28年4月
	その他の数値指標2	地区内人口1人当りの公園・緑道・緑地の面積	m <sup>2</sup> /人	7.1	H22	/		7.4		/	/	緑豊かで魅力のある空間である公園、緑道、緑地の整備を推進したことにより、地区内人口1人当りの公園・緑道・緑地の面積の増加が図られ、より緑豊かなまちとなった。	平成28年4月
4)定性的な効果発現状況	公園・緑道の整備内容や施設配置計画に関するワークショップにおいて、地域住民が互いに意見を出し合い計画をとりまとめた。また、地域住民で構成される防犯パトロール隊による防犯パトロール等を実施した。このような取り組みをきっかけに、地域住民のつながりが強くなるとともに、まちづくりへの意欲が高まり、地域コミュニティの活性化が図られた。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	指標1(地区内定着人口)、指標2(安心・安全・快適に通行できる道路に面している宅地率)、指標3(雨水排水機能向上区域率)、指標4(公園・緑道までの距離)に関するモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 今後も関連事業である土地区画整理事業の推進状況、地区内定着人口等を定期的に確認する。		
	住民参加プロセス	ワークショップの開催(五輪ヶ淵公園・本郷公園、緑道の住民参加型施設計画の策定)	都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 地域住民が協働で考えたことを契機に、公園、緑道の清掃、除草等の維持管理を地域に委ねることで、地域コミュニティの更なる活性化が図られるため、今後も支援を行っていく。		
	持続的なまちづくり体制の構築	地域での公園清掃活動 自主防犯パトロール活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 防犯パトロール隊の参加者も増加しており、今後も地域住民の防犯意識の向上、連携の強化やまちに対する愛着を高めていくための活動が継続的に実施されるよう支援していく。また、五輪ヶ淵公園、緑道については、今後も清掃、除草などの維持管理をはじめとする持続的なまちづくり体制の構築に向けて、地域との話し合いを継続していく。		

## 様式2-2 地区の概要

### 伝法寺地区(愛知県一宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
<b>大目標:</b> 安心・安全でゆとりとうるおいのある魅力あふれるまちづくり <b>目標1:</b> 自転車利用者及び歩行者が安心・安全・快適に通行できるゆとりあるまちづくり <b>目標2:</b> 水害や地震等の災害に強いまちづくり <b>目標3:</b> 緑豊かで憩いとうるおいのあるまちづくり	地区内定着人口	単位: 人	3,470	H22	4,100	H27	4,310	H27
	安心・安全・快適に通行できる道路に面している宅地率	単位: %	90	H22	100	H27	100	H27
	雨水排水機能向上区域率	単位: %	29	H22	100	H27	100	H27
	公園・緑道までの距離	単位: m	230	H22	150	H27	150	H27
	地震時における避難場所までの到達時間	単位: 分: 秒	3:37	H22	—	—	2:43	H27
	地区内人口1人当りの公園・緑道・緑地の面積	単位: m <sup>2</sup> /人	7.1	H22	—	—	7.4	H27



**まちの課題の変化**

- 地区南側の未舗装道路等が整備され、自転車利用者及び歩行者が安心・安全・快適に通行できる空間が増加した。
- 調整池、雨水排水路等の整備により、概ね5年に1回程度の大雨に対して安全な区域が増加した。
- 地震時の避難場所となる公園や避難路となる道路・緑道が整備され、避難場所までの到達時間が短縮した。
- 公園・緑道等の整備により、憩いとうるおいのある緑の空間が増えるとともに、それらにアクセスする道路が整備され、緑の空間がより身近になった。
- 都市基盤施設等の整備にとまらぬ人口、住宅地の増加により、犯罪件数、ごみの量及びごみ出しルールの違反の増加が想定される。また、交通量の増加も見込まれ、交通事故の増加が想定される。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 自転車利用者及び歩行者が安心・安全・快適に通行できる空間を維持するため、道路パトロールを実施するなど道路の舗装等の適切な維持管理を行う。
- 地域住民が安心して道路を通行できるよう、地元町会が設置する防犯カメラ等への支援を行う。
- 地域住民が災害時にスムーズな避難等の対応ができるよう、あんしん・防災ねっと等による災害時の情報提供、また、洪水ハザードマップ、地震防災マップ等のPRを行う。
- 自主防災活動等に対するソフト面での支援を行うとともに、住民一人ひとりの意識の向上、また、防災に関する知識の向上を図るため、自主防災等に関する研修会・講演会を開催する。
- 地震時に倒壊した建物によって避難に支障が出ないよう、無料耐震診断、木造住宅耐震改修費補助制度等のPRを行い、地域住民が自主的に建物の耐震化等を行うよう支援する。
- 今後の都市化の進展を踏まえ、地域の浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設、雨水浸透施設等の補助制度のPRを行い、地域住民が自主的に透水性舗装、浸透樹、雨水タンクなどを整備するよう支援する。
- 人口の増加による地域コミュニティの低下を防ぎ、地域力を強化するため、公園等の維持管理を地域で実施するよう働きかけるとともに、地元住民による防犯パトロールなど、地域が行うまちづくりを支援する。
- 花いっぱい運動、一宮市緑化推進事業補助金制度のPRを行い、地域が行う緑化推進を支援する。
- 交通事故の増加が想定されるため、舗装のカラー化、区画線、カープミラー等の交通安全施設の充実を図り、事故防止に努める。
- 交通安全教室等のPRを行い、地域住民の交通安全に対する意識の向上を図る。
- 犯罪の発生を抑制するため、防犯対策を充実するとともに、住民の防犯意識の向上を図る。
- 人口、住宅地の増加により、ごみの量及びごみ出しルールの違反の増加が想定されるため、ごみの減量の支援等のPR、ごみの出し方に関するルールの周知徹底を図る。また、地域における公共施設、ごみ集積場等の清掃活動を支援する。